# 「営業権=金もうけ」のために憲法停止



## ◆田中優子総長「ビラまきは営業妨害」(!?)

法政大学(田中優子総長=右写真)は、2月5日から始まる入試期間中、「半径200元」(右上地図)での学生のビラまき・情宣活動を禁止する「仮処分」を東京地裁(民事第9部)に申し立てました。その「理由」はなんと、「<u>営業権の保全</u>」です。つまり、法大受験生に、大学のあり方を批判するビラや戦争反対のビラがまかれると、法大入学者数が減って「大学経営に損害が出る」というのです。

こんなふざけた話があるでしょうか!「入試はカネもうけのため(35000円の受験料)」と開き直り、「仮処分に違反したら100万円の罰金を支払え」と主張する。これが「自由と進歩」を標榜する法政大の実態です。大学と裁判所が結託し、「ビラまき禁止=憲法停止」状態をつくろうとしています。こんな腐った大学ー社会のあり方を変えよう!





# 【全日本学生自治会総連合(委員長·斎藤郁真)】

http://www.zengakuren.jp/mail\_cn001@zengakuren.jp

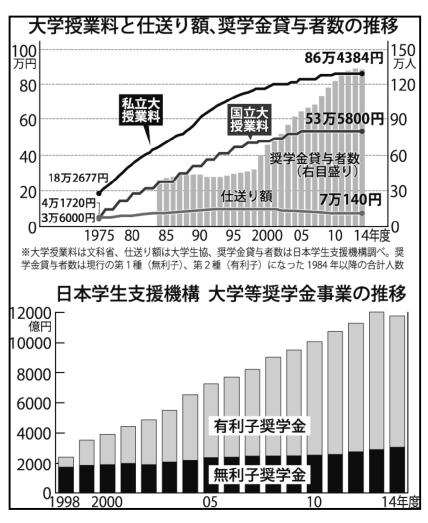
TEL/FAX 03-3651-4861

# 【法政大学文化連盟(委員長·武田雄飛丸)】

http://08bunren.blog25.fc2.com/

bunren08@yahoo.co.jp

Twitter:@jinmin1991





## ◆学生の貧困と大学の軍事研究

いま、大学と教育のあり方が根本的に問われています。 安倍政権と防衛省は戦後初めて、大学に直接資金を提供 して軍事研究を推奨しようとしています(上記事参照)。 大学予算を意図的に減らし、「カネがほしければ軍事研究 しろ」と迫っています。軍事研究資金は昨年、6億円から 110億円にはね上がりました。

他方で、大学の学費はどんどん上がり、学生と家族を 貧困に突き落としています。それと一体で「奨学金ビジネ ス」が横行し、学生の未来を奪っています。

大学が戦争体制に組み込まれようとしているからこそ、 キャンパスで学生の自由や権利、自治が奪われています。 私たちは、大学と教育を学生自身の手に取り戻すため、 法政大や京都大、そして全国で闘っています。

#### ◆労働者・学生の行動が社会を変える!

トランプ大統領と安倍首相は朝鮮侵略戦争に突き進も うとしています。憲法改悪と働き方改革は労働者・学生を 貧困と戦争に叩き込むための攻撃です。戦争を止める力は社会を動かしている労働者・学生の団結した行動です。 いま全世界で「戦争・貧困・団結破壊」に対する力強い反撃 が始まっています。

職場・キャンパスから、団結してストライキに立とう。 韓国での労働組合・学生自治会のゼネラルストライキに続 こう。「ビラまき禁止仮処分」阻止し、学生運動の爆発へ!





